

小規模事業場における 主体的産業保健活動支援方法の システム化と実践検証

茨城産業保健推進センター20年度研究報告

＜茨城地域産業保健研究班＞

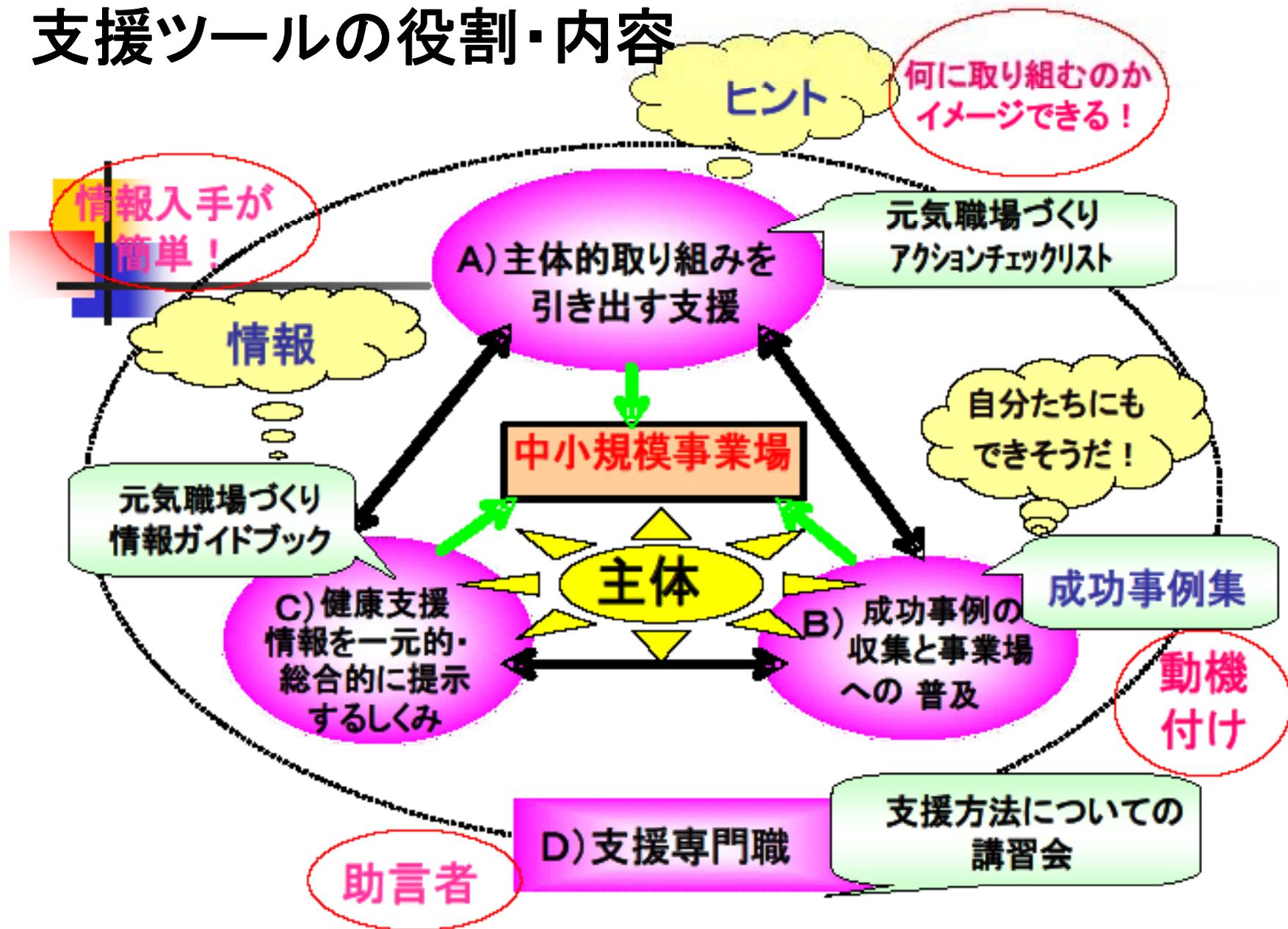
池田 智子,
和田 弘, 河島 美枝子,
伊藤 進一, 高嶋 靖子,
倉持 勝男, 大西 慶造,
奥田 恭子, 根来 健造,
北川 玲, 松井 亜樹,
武田 繁夫, 野口 清 他



地域産業保健センターによる 小規模事業場の主体的産業保健活動 支援モデル事業の展開と評価

- **目的** 地域産業保健センターのコーディネーター(コーディネーター)と保健師の協働による、小規模事業場の主体的産業保健活動の支援方略を検討する。
- **対象と方法**
 1. 介入事業場: I県内16ヶ所の小規模事業場(従業員数 $M=33.3$ 人)
 2. 支援者(介入者): コーディネーター6名,保健師5名
 3. 介入期間:平成20年8～平成21年3月
 4. 介入方法: コーディネーターと保健師がペアになり、支援ツールを用いて事業場の主体的保健活動を支援する。
 5. 分析方法: 対象事業場と支援者双方のやり取りと変化の経過をアクション・リサーチの手法を用いて分析する。

支援ツールの役割・内容





付属品
すな！不良を作る

取り組まれた活動(事例集参照)

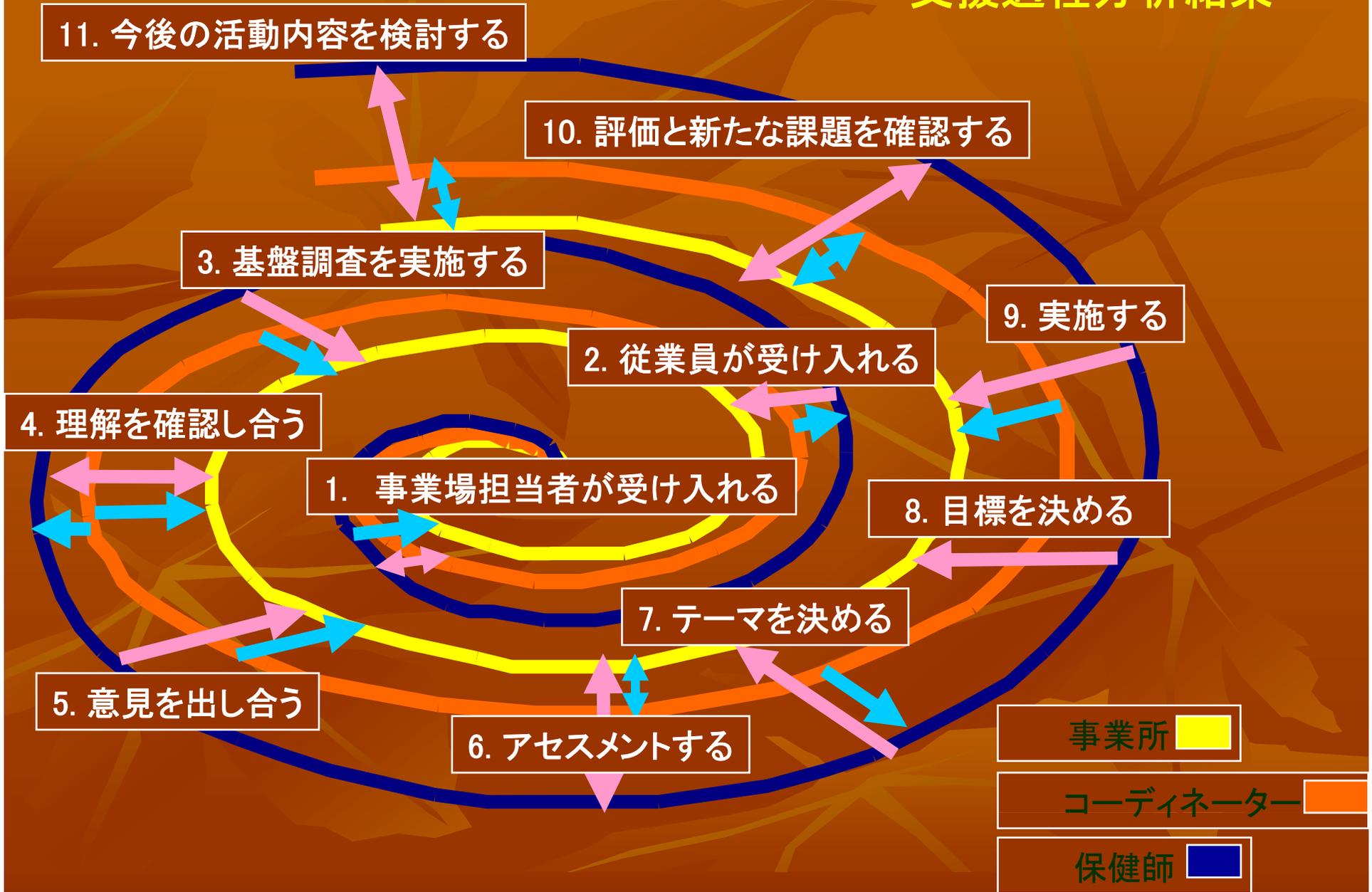
領域	改善活動
コミュニケーション	従業員集会の設定 従業員による健康関連ミニ講習会の実施 ポスターや標語の作成と掲示 社内に相談窓口の設置
身体的健康	健診結果の読み方に関する講習会の実施 栄養と調理方法に関する講習会の実施 (調理実習含む)
禁煙対策	喫煙ルームの設置(分煙化) 禁煙に関する講習会の実施
運動	勤務時間内に運動のための時間の設定 腰痛体操の実施 体育大会、登山、社員旅行の実施
職場環境	全従業員による大掃除の実施 レイアウトの再構築 空調設定に関する取り決め (一定温度の保持)
勤務時間	ノー残業デイの設定

結果(事例)



取り上げた 保健活動	実施した 保健活動	感想
<ul style="list-style-type: none">1. 事業主の名言2. 職場体操実施3. 休養設備整備	<ul style="list-style-type: none">1. 事業主の明言： 健康づくり活動の重要性の強調と今後の具体的活動内容を宣言し、印刷物にして配布した。2. 職場体操実施： パートを含めた全員の参加、日替わりでリーダーを設定した。3. 休養設備整備： トイレ、休憩室、更衣室などの掃除。	<p>【良かった点】 事業主が健康管理の目標を従業員に伝えた結果、従業員同士が朝の挨拶を交わす声が聞こえるようになり職場の雰囲気良くなった。 ラジオ体操の全員参加を実施した結果、パート社員が正社員に溶け込んだ。さらにリーダーを作り、翌日のリーダー指名権を行使することで、和が増した。</p> <p>【実施困難だった項目の理由と工夫】 経済的に、休養施設の根本的改善は不可能だった。しかし休養施設の掃除は社長を含めて従業員全員の当番制にし、従業員の理解が得られた。</p>

支援過程分析結果



図の解説 (1)

1. 事業場の担当者が受け入れる

コーディネーター ⇒ 事業場担当者 信頼関係構築, 綿密な連絡
コーディネーター ⇔ 保健師 情報に基づく準備(事業場の特徴に合わせた説明方法, ツール)

2. 従業員が受け入れる

保健師 ⇒ 従業員 緊張緩和, 説明と意見交換(事例集の活用)
コーディネーター ⇒ 保健師 事業場のキーパーソン, 人間関係を把握し保健師の説明を補足・援助

3. 基盤調査を実施

コーディネーター & 保健師 ⇒ 従業員 スムースな進行の援助

4. 理解を確認し合う

保健師 ⇔ 従業員 合意形成に向けて説明と意見交換
コーディネーター ⇒ 保健師 従業員の表情観察と補足的援助

5. 意見を出し合う

保健師 ⇒ 従業員 進行を観察しながら適切な援助
コーディネーター ⇒ 従業員 発言を促すような援助

図の解説 (2)

6. アセスメントする

コーディネーター & 保健師 ⇔ 従業員 職場視察による情報共有, アセスメント

7. テーマを決める

保健師 ⇒ 従業員 事業場全体で取り組むべき問題の抽出や
優先順位決定への援助

コーディネーター ⇒ 保健師 時間管理・進行管理

8. 目標を決める

保健師 ⇒ 従業員 主体的決定への工夫と支援

9. 実施

コーディネーター ⇒ 従業員 連絡・進行状況の確認と助言

保健師 & コーディネーター ⇒ 従業員 サービス提供

10. 評価と新たな課題を確認

コーディネーター & 保健師 ⇔ 従業員 共に活動評価, 達成感・
成功感の共有

11. 今後の活動内容を検討する

コーディネーター & 保健師 ⇔ 従業員 今後の継続支援の確認

地域産業保健センターの サービス内容と提供方法 に関する提言

- 1) ニーズの発掘
- 2) 事業場の「気づき」と「主体性」の促進
- 3) サービス内容と提供方法の開発
- 4) 保健師の活用

ご清聴ありがとうございました。

演者へのご質問はこちらまで。

池田 智子（産業医科大学）

ikedatomoko@health.uoeh-u.ac.jp

<http://tomocop.com>